

平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	ワッセナー・アレンジメント(WA)分担金	担当部局庁	軍縮不拡散・科学部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度	担当課室	不拡散・科学原子力課	課長 羽鳥 隆			
会計区分	一般会計	政策・施策名	基本目標 VII:国際分担金其他諸費 具体的施策 VII-1 国際機関を通じた政務および安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3号	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ワッセナー・アレンジメント(WA)は、通常兵器及び関連汎用品・技術の過度の移動と蓄積を防止するための国際輸出管理レジームであり、欧米諸国を中心に約40か国が参加している。我が国としてもWA参加国に求められる分担金を負担することによりWAの目的達成に貢献することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	近年ワッセナー・アレンジメントの重要性はますます高まっており、即時かつ確かな情報交換を行うためのオンラインシステムの維持・管理・改善等、事務局の業務量が増大しつつある。更に、効果的な輸出管理の為に、ワッセナー・アレンジメント参加国のみでは十分に対応できないとの認識の下、ワッセナー・アレンジメント事務局を中心とする非参加国へのアウトリーチ活動が積極的に行われている。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	38	28	30	30	36
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
		計	38	28	30	30	36
	執行額	38	28	28			
執行率(%)	100%	100%	93.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	WA専門家会合では、各参加国からの提案に基づき、規制リストの見直し・改訂を行っているところ、我が国の提案について参加国のコンセンサスを達成する。	成果実績	提案数	5(10)	8(11)	8(9)	9(10)
		達成度	%	50	73	89	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	主な会合を計7回(総会(1回)、一般作業部会(2回)、専門家会合(3回)、執行官会議(1回))を実施した。	活動実績 (当初見込み)	回数	主な会合を7回実施 (7回)	主な会合を7回実施 (7回)	主な会合を7回実施 (7回)	— (7回)
		算出根拠	平成24年度のWA分担金(28,247千円)を主な会合の回数(7回)で割ったもの。				
単位当たりコスト	約403万円(28,247千円/7回)						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	国際機関分担金	30	36				
	計	30	36				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	通常兵器及び機微な関連汎用品・技術の過度の移転と蓄積を防止することは国際社会の平和と安定を確保する上で極めて重要であり、国として対応する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	義務的経費のため、支出先等の妥当性、合理制等個別の判断は必要とされない。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	23年度においては、我が国がWA専門家会合の議長を務め達成度は向上したが、昨年度においても同等の達成度となった。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	支出先・使途については、年次報告書等を精査し十分に把握。WAは職員13名と事務局が小規模であり、また一般予算に占める人件費割合が約8割を占めるなど、特殊な事情を抱えているが、国際機関の財政規律を維持する観点から、我が国は、事務局職員昇格等に伴う増額に然るべく対応している。					
外部有識者の所見						
ワッセナー・アレンジメント(WA)の重要性を踏まえると、当該レジームに対して分担金を拠出する意義は高い。日本は、WAの目的達成のために十分な活動がなされているかについて、今後も確認する必要がある。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	日本の分担額・拠出額に応じて要求を見直す。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの実業番号						
	平成22年	50	平成23年	41	平成24年	69